

れきはく NEWS

vol.59
2024.JUL

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

Shimane Museum of Ancient Izumo

企画展

「荒神谷発見！」特集号

CONTENTS

- 2 企画展「荒神谷発見！」
- 5 れきはく通信
- 6 イベントのおしらせ

企画展

荒神谷発見!

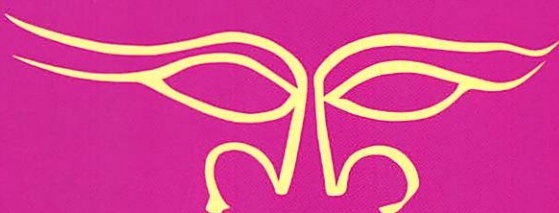
出雲の弥生文化

島根県指定文化財 縄形銅剣 (伝竹矢出土 平家八幡宮)

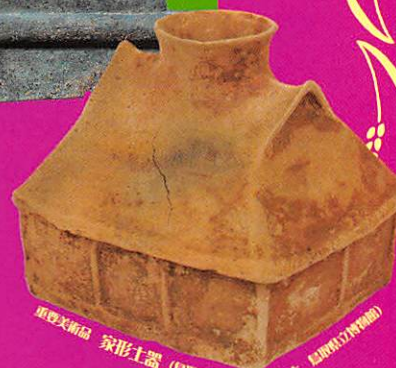


出雲 荒神谷遺跡出土銅剣 (文化庁)

令和6年 7.12(金) - 9.8(日)



出雲文化財 魚形木製品 (島根県立古代出雲歴史博物館蔵) 島根県



出雲文化財 家形土器 (島根県立古代出雲歴史博物館蔵) 島根県



出雲文化財 碓台復元品 (田代山遺跡 田代山セボトコラカ) 島根県



出雲文化財 鳥形石玉 (島根県立古代出雲歴史博物館蔵) 島根県



出雲文化財 伊勢石製石玉 (島根県立古代出雲歴史博物館蔵) 島根県



出雲 加茂岩倉遺跡出土銅鈴 (文化庁)



出雲文化財 兵衛野原遺跡出土銅鈴 (島根県立古代出雲歴史博物館蔵) 島根県



出雲文化財 壺形土器 (島根県立古代出雲歴史博物館蔵) 島根県



出雲文化財 石玉 (出雲県立歴史博物館蔵) 島根県


企画展

荒神谷発見!

出雲の弥生文化

令和6年 7.12(金) - 9.8(日)

開館時間/午前9時~午後6時 [7/12は特別展示室のみ10時開場]
会期中の休館日/7/16(火)、8/6(火)、8/20(火)、9/3(火)



昭和59年(1984)の夏、荒神谷遺跡(出雲市斐川町)で358本もの銅剣が発見され、さらに翌年、銅鐸6個・銅矛16本が出土しました。荒神谷遺跡は全国最多の青銅器大量埋納遺跡として、大きな注目を集めることとなります。この発見により、それまで神話や古代史から描かれていた古代出雲のイメージは大きく変わりました。

本企画展は荒神谷発見40周年の節目の年に、最新の研究成果を踏まえながら、あらためて出雲の弥生文化に焦点を当てるものです。まず、島根県内で近年おこなわれた発掘調査の成果を通じて、水田農耕や狩猟・漁労、住まいやモノ作りなど、弥生人たちの生活の実態を解き明かします。次に、出雲で玉作りが本格化し、遠く離れた九州・朝鮮半島との広域交流をおこなっていた様子、また争いが起こっていたことを示す資料を紹介しします。さらに、弥生人がまつりの道具として採用した青銅器の、製作から使用に関わる資料を示し、出雲における青銅器大量埋納の謎にせまります。

プロローグ 荒神谷遺跡発見の衝撃

荒神谷遺跡発見のきっかけは広域農道予定地の発掘調査です。当時、国内で発見されていた銅剣は全てあわせても約300本。荒神谷遺跡では、これを大きく上回る数の銅剣が1か所から見つかりました。約2,000年前に埋められた時のまま整然と並ぶ姿に、日本中が驚嘆したのです。翌年の発掘調査では、銅剣出土地点から7m谷奥の斜面で、今度は銅鐸6個と銅矛16本が丁寧に並べられた状態で出土しました。これが銅鐸と銅矛が同時に埋納されていた、全国初の例となりました。プロローグでは大発見の衝撃を、当時の発掘資料や刊行物から振り返ります。



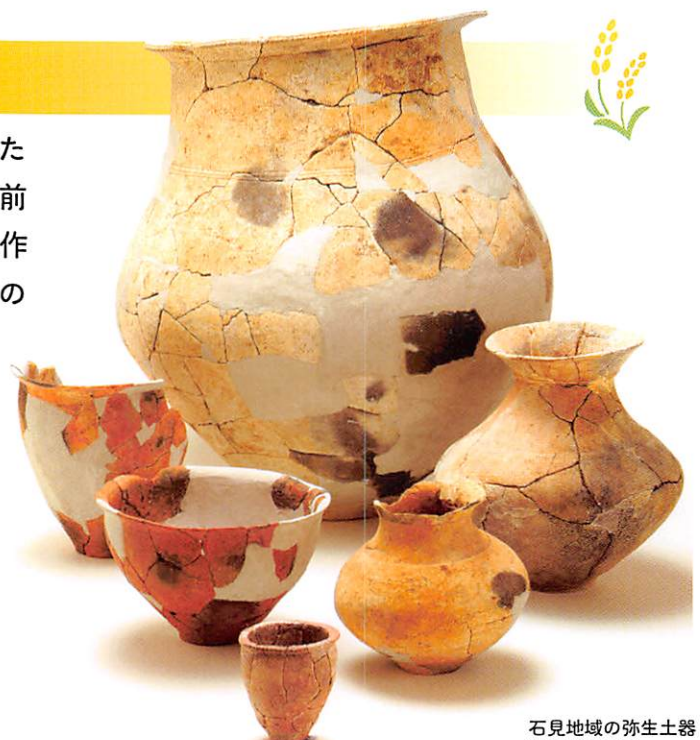
荒神谷遺跡 銅剣取り上げ作業の様子

第1章 島根に米作りが伝わった

今から約3,000年前、朝鮮半島から北部九州に伝わった稲作は、しだいに各地に広がり、島根県では約2,700年前に稲作が行われていたことが明らかになっています。米作りが始まったことで人々のくらしはどう変化したのか。この章では弥生時代初め頃の島根の様子を紹介します。



土笛
(西川津遺跡出土
島根県埋蔵文化財調査センター)



石見地域の弥生土器
(古屋敷遺跡出土
大田市教育委員会)



第2章 弥生人のくらし

荒神谷遺跡で大発見のあった昭和の終わりから、開発事業の増加に伴って、島根県では遺跡の発掘調査が増えました。弥生時代の遺跡も数多く調査され、建物の跡や生活の道具が数多く出土しました。この章では、島根県内の出土品から、水田農耕や狩猟・漁労、住まいやモノ作りなど、弥生人たちのくらしの様子を紹介します。



弥生時代の水田耕作の道具
(タテチョウ遺跡・西川津遺跡
五反配遺跡・大寺遺跡出土
島根県埋蔵文化財調査センター)



イノシシの骨
(西川津遺跡出土 島根県埋蔵文化財調査センター)



収穫の道具
(西川津遺跡・五反配遺跡
竹ヶ崎遺跡・姫原西遺跡出土
島根県埋蔵文化財調査センター)



弥生中期の食器セット
(タテチョウ遺跡・西川津遺跡
五反配遺跡・石台遺跡出土
島根県埋蔵文化財調査センター)



木杵
(山持遺跡・五反配遺跡出土
島根県埋蔵文化財調査センター)

第3章 出雲の交流

弥生時代に出雲で作られた玉製品は、山口県西部や九州北部地域へ運ばれました。一方、九州北部からは楽浪郡の硯、漆塗り容器など珍しい品々が出雲にもたらされます。これらは本州では出雲だけで出土するもので、出雲が広域交流の拠点であったことを物語ります。



硯台復元品 (田和山遺跡出土品の参考資料 田和山サポートクラブ)



ガラス製勾玉
(西川津遺跡出土
島根県埋蔵文化財調査センター)



漆塗り容器
(西川津遺跡出土
島根県埋蔵文化財調査センター)



友田遺跡の墳墓群から出土した土器・石製品
(友田遺跡出土 松江市)

第4章 青銅器のまつり

金色に輝き、金属ならではの音色や質感を持つ武器形青銅器や銅鐸は、2,000年前の人々を魅了したと考えられます。この章では、青銅器の製作から使用の様子を、当時の技術やまつりのイメージを示す出土品から紹介します。

また、青銅器や土器に描かれた絵画や文様に注目し、まつりの要素から読み取れる地域同士のつながりや、青銅器を埋納した時代的背景について考えます。



鳥根県指定文化財 細形銅剣 (伝竹矢出土 平濱八幡宮)



重要文化財 銅鐸鑄型 (唐古・鍵遺跡出土 田原本町教育委員会)



天秤ばかりの重り (亀井遺跡出土 大阪府教育委員会 写真提供:大阪府文化財センター) ※はかりは現代のもの



重要美術品 家形土器 (鳥取県湯梨浜町藤津出土 鳥取県立博物館)



佐賀県指定文化財 吉野ヶ里遺跡出土銅鐸 (佐賀県教育委員会)



鳥根県指定文化財 伝出雲出土銅鐸 (一般財団法人八雲本陣記念財団)



重要文化財 椀形容器 (青谷上寺地跡出土 鳥取県)

エピソード 弥生社会の解明へ

荒神谷遺跡をきっかけに歴史文化への関心が急激に高まる中、平成8年には加茂岩倉遺跡で全国最多となる39個の銅鐸が出土しました。相次ぐ大発見とともに鳥根県では文化財の調査研究が大きく進み、平成19年には、鳥根の歴史遺産を展示公開する当館の開館を迎えることになります。

一方で、誰が、なぜ青銅器を大量に埋めたのか、という最大の謎は今も解明されていません。その問いは、出雲の弥生文化全体に関わるものであり、さらに日本列島の弥生社会を解き明かすことにもつながります。研究は今も、続いています。



兵庫県指定重要有形文化財 松帆銅鐸 (南あわじ市教育委員会)

国史加茂岩倉遺跡出土銅鐸 変化庁

関連講座 オンラインで同時配信

1. 荒神谷銅剣はいかに創り出されたのか
7月13日(土) 13:30~15:00
講師:吉田 広氏(愛媛大学ミュージアム教授)
 2. 青銅器をもつことと弥生地域社会
—西日本各地の比較—
7月27日(土) 13:30~15:00
講師:若林邦彦氏(同志社大学歴史資料館教授)
 3. 青銅器なき世界からみた弥生社会像
8月3日(土) 13:30~15:00
講師:寺前直人氏(駒澤大学文学部教授)
 4. 荒神谷大量青銅器の発見とその後
8月24日(土) 13:30~15:00
講師:足立克己氏(元古代出雲歴史博物館学芸部長)
- 会場/古代出雲歴史博物館 講義室
定員/各回60名(要事前申込) 参加無料

ギャラリートーク 担当学芸員による展示解説

- 日時:7月13日(土) 10:00~11:00
7月27日(土) 10:00~11:00
8月3日(土) 10:00~11:00

定員/各回20名(要事前申込)
■参加には企画展観覧券もしくはミュージアムパスポートが必要です。
■当日は集合時間までに特別展示室入口付近にお集まりください。

■関連講座・ギャラリートーク共通
【お申し込み方法】電話・FAX・ホームページのイベント参加フォーム(しまね電子申請)のいずれかで事前にお申し込みください。
【お申し込み先】
TEL.0853-53-8600
FAX.0853-53-5350
https://www.izm.ed.jp

荒神谷発見!×marucafé コラボメニュー

何の変哲もないシフォンケーキですが
その中には驚きの発見が待っている!?



発見! 銅剣シフォンケーキ

ドリンク付き¥1,000

斜めにカットされたシフォンケーキは荒神谷銅剣の発見現場を、クリームの上に散らしたフルーツは荒神谷の古代ハス池をイメージしています。

ミュージアムカフェ「marucafé」

※【個人情報取り扱いについて】この申し込みによって収集した個人情報は、鳥根県の規定に従って取り扱い、お申し込みいただいたイベント開催の目的にのみ利用するほかは法令に定めがある場合を除いて、第三者に提供することはありません。

展示室の興奮は現地で感動になる! 荒神谷、加茂岩倉、出雲弥生の森、古代出雲歴史博、弥生・青銅器を巡る
弥生ブロンズネットワーク **スタンプラリー** 7月12日(金)~9月8日(日)開催
詳しくは、チラシ、古代出雲歴史博物館のホームページをご覧ください

企画展

山陰の戦乱

一月山富田城の時代

◎会期/令和6年10月11日(金)~12月8日(日)

■開館時間/9:00~18:00(11月1日からは9:00~17:00)

■会期中の休館日/10月15日(火)、11月5日(火)、19日(火)、12月3日(火)

◎会場/島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

◎主催/古代出雲歴史博物館・島根県古代文化センター



尼子晴久像(当館蔵)
[展示期間(予定):11/6~12/8]

島根県安来市広瀬町に所在する月山富田城は、言わずと知れた山陰屈指の名城です。この月山富田城が出雲国の中心であった16世紀は、まさに日本列島全体を巻き込む戦乱の時代でした。

尼子氏が富田城主だった時代、富田城は尼子氏・大内氏・毛利氏らの戦いの舞台となります。尼子氏滅亡後、毛利氏が富田城をおさえるようになった時代にも戦乱はおさまらず、山陰東部には織田信長の軍勢が襲来します。吉川広家が富田城主となった時代は、豊臣秀吉による大規模な戦争が山陰地域の人びとをも巻き込みました。徳川幕府の成立に伴って富田城主となった堀尾氏は、戦乱が徐々に収束していく中で、拠点を松江へと移していくこととなります。16世紀の山陰の戦乱とその終焉は、まさに月山富田城が見届けて

きたといえるでしょう。

本展では、月山富田城をキーワードとしながら、山陰における戦乱の様子を紹介します。甲冑や刀剣、火器といった武具・武器は、中世の戦いのあり方と変化を最も象徴するものの一つです。各地の戦いを指揮した武将たちの姿は、肖像として現代まで伝わります。古文書は、時に地域や民衆の姿も含めた戦乱の実情を書き記し、仏像や経典など信仰に関わる品々も、戦乱の時代と無縁ではありません。月山富田城をはじめとする城は、当時の戦いのあり方を土地に記憶する存在であり、城下町には多くの生活の痕跡が考古資料として残されています。

山陰における戦乱の歴史を紐解く鍵となる多彩な作品・文化財を、この機会に是非ご覧ください。



色々威腹巻 兜・大袖付(佐太神社蔵)
[展示期間(予定):11/6~11/18]

(画像提供)東京国立博物館 Image:TNM Image Archives



色々威胴丸 兜・大袖付(佐太神社蔵)
[展示期間(予定):10/11~11/4]

(画像提供)東京国立博物館 Image:TNM Image Archives



富田川河床遺跡出土品(島根県埋蔵文化財調査センター)



京羅木山山頂(手前)と眼下の富田城(中央奥)

長期休館前、最後の夏休み！歴博にあそびにおいで！

れきはく夏まつり2024

島根県観光キャラクター

SUMMER FESTIVAL 2024
in REKIHAKU



しまねっこの
れきはくジャックにゃ！

2024年7月28日(日) AM10:00~PM3:00

会場/エントランスホール・講義室・体験工房

島観連許第8228号

★チャレンジ！れきはく体験

企画展「荒神谷発見！」関連イベント

「拓本うちわ」を作ろう

土器の模様をスミで写し取った紙をうちわに仕上げます。

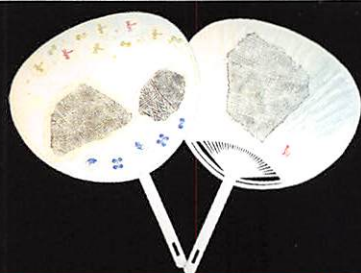
時間：午前11時～午後2時～
(各1時間程度)

参加費：400円

定員：各回10名(要申込み)

参加ご希望の方はお電話にて
お申し込みください。

TEL.0853-53-8600



しまねっこの
onステージ

★午前10:30～★午後13:30～

しまねっこの気まぐれ
ブラさんぽ

しまねっこと一緒にお散歩してみよう！
(時間は当日のお楽しみ！)



大人気！いいのたくさん！

開店！出農ショップ

※商品がなくなり次第終了します。お買い求めはお早めに！

近隣の博物館・美術館が集合！

出張ミュージアム！

- 荒神谷博物館
- 島根県立美術館
- 出雲弥生の森博物館

★★★★各館の個性が光る体験コーナーをお楽しみください★★★★

夏休み

子ども考古学教室

「石こう銅鐸をつくろう！」

石こうでかわいい銅鐸を作ったり、銅鐸について学んだりします

令和6年8月18日(日) 会場：体験工房

時間/午前の部 10:00～11:45 午後の部 13:30～15:15

定員各回15名 材料費/300円 ※当日は「しまね家庭の日」で高校生以下は観覧料無料

申し込みはお電話で！ TEL.0853-53-8600 (各回先着順。定員になり次第締め切ります)



お知らせ

古代出雲歴史博物館は耐震改修工事等のため、
令和7年4月～令和8年9月(予定)まで休館いたします

ご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

詳細や再開時期につきましては、決定次第当館ホームページなどでお知らせいたします。



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
[URL] https://www.izm.ed.jp [E-mail] contact@izm.ed.jp
開館時間/9:00～18:00(11月～2月は9:00～17:00)
休館日/第1・第3火曜日(変更の場合有り)



マスコットキャラクター
雲太くん



発行/令和6年7月



マスコットキャラクター
出雲ちゃん